

守れ！イチモンジタナゴ！！プロジェクト 2017 報告書④

開催日：平成29年6月17日（土）

時間：13時30分～15時00分

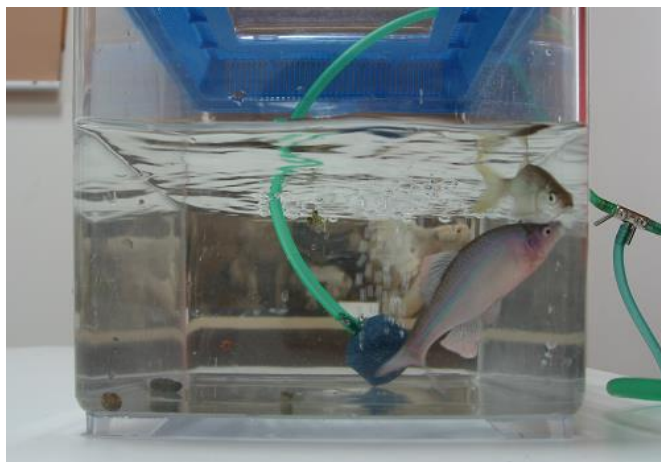
場所：レクチャールーム・噴水池・京都の森小川

参加人数：25名中14名

運営スタッフ：高木，安井，伊藤英，瀬古，精華大学板倉ゼミ学生

内容：・イチモンジタナゴの観察

- ・水質検査
- ・先月から今回までの出来事報告
- ・噴水池でイチモンジタナゴが安心してすめる環境とは
- ・ヨシの役割りについて
- ・噴水池、京都の森小川の掃除、不要なヨシの剪定



まずは恒例のイチモンジタナゴの観察です。今日は先月とあまり変化がなかったと思います。繁殖期まただ中ですので、オスはとても鮮やかな婚姻色が出ていました。

その後も、恒例の「水質検査」をしました。4回目ともなるとみなさん手際が良くなりました。



相変わらず、噴水池のpHはひどかったです…
9.5以上もありました…

今回は、「イチモンジタナゴが安心してすめる池にするにはどのようなことが必要なのか」ということを考えるのが目的です。



みなさん、今日も真剣に話を聞いて、いろいろと考えてくれました。

イチモンジタナゴが安心してすめる池にするのに一番大切なことは「継続」です。みんなで頑張ってイチモンジタナゴが池に増えたとしても、その良い状態を維持するには常に手を掛けていかなければならないのです。

まずは、今の噴水池がどのような状態なのかを知る事から始めます。大量に増えてしまったアオミドロ、外来生物、池の一角にあるヨシ原は何のためにあるのか…などを勉強しました。

その後、池の整備を実際にやっていただきました。



小川にはアオミドロや両側の芝の根が入り込んでいて、それらを取り除いてもらいました。

とてもたいへんな作業でしたが、短時間で多くの藻や根が取れました。



噴水池では、水位を下げアオミドロを除去しました。アオミドロは水を多く含んでいるので、とても重く、小学生たちにとってはとても重労働だったと思います。



噴水池の南側にはヨシが生えています。

ヨシは水をきれいにしたり、小さな生物たちの隠れ家・休息場所になったりもする大切な場所です。

しかし繁殖力が強く、池から根を外に張って増えていきます。

池の外側に出たヨシを剪定しました。

来園者にとっても邪魔になる場所に生えていたのですっきりしました。

この日は梅雨の最中にもかかわらず、とても天気がよくて作業は短時間で終わらせましたがみなさん汗だくになるほどでした。ただ掃除をするだけではなく、何のためにしているのかという目的をしっかりと持ってやっていたのでとても真剣でした。

この池にイチモンジタナゴが泳いでいる姿が見られる日がいつになることかわかりませんが、みなさんはきっとそんな光景を思い浮かべながらやってくれたのではと思います。

今回は、外来生物について学ぶ予定をしていますのでみなさんに宿題を出しました。

「外来生物を探そう、見つけよう」という宿題です。来月の活動までに見つけたものを報告してもらいます。活動は月に一度しかありませんが、「守れ！イチモンジタナゴ!!プロジェクト」は活動以外でも常に身近な自然に目を向け、自然について考えてもらうのが大きな目的ですので、このような宿題でみなさんの意識が向上することを願っています。